

# ミュージアム エンサート

2017.

Vol.2

2.23 [木]

13:00 開場 14:00 開演 (約40分)

## 石橋文化ホール

[入場料]

◆一般 1,000円 (全席自由)

大高生 500円 中学生以下無料

岩田屋久留米店 プレイガイド TEL0942-39-7006

木下楽器店 TEL0942-38-1111

◆ラウンジにてコーヒーサービスあり

◆プレミアムチケット発売!!

石橋文化センター園内「楽亭」での限定ランチが  
セットになったプレミアム鑑賞券(3,000円)です!  
先着30名様に限ります。詳細はお問合せください。

[演奏予定曲目]

◆「2台のピアノのためのソナタ 二長調K.448より第1楽章」

W.A.モーツァルト

◆「枯 葉」J.コズマ

◆「クラシカル・ピアノとジャストリオのためのソナタ」C.ポリング

主催 公益財団法人久留米文化振興会(久留米市美術館指定管理者)

後援 久留米市

お問合せ 石橋文化センター

ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地

TEL.0942-33-2271 FAX.0942-39-7837

http://www.ishibashi-bunka.jp

受付時間/9:00~17:00 休館日/月曜日



SOKO Labo.  
ソコ ラボ



ソコ ラボ

各方面で躍進中の若手演奏家が結成したユニット「SOKO Labo.」。  
2台のスタインウェイピアノを使用し、クラシックやジャズの名曲をお贈りします。

当日に限り、  
本公演のチケットを  
提示いただくと  
久留米市美術館本館2階  
「吉田博展」が  
鑑賞できます

### 《展覧会のご案内》

本館2階 「絵の鬼」と呼ばれた画家、初の里帰り展。

## 生誕140年 吉田博展

会期/2/4(土)~3/20(月・祝) ※会期中、展示替えがあります。

[前期]2月4日~2月26日 [後期]2月28日~3月20日



久留米市美術館

KURUME CITY ART MUSEUM  
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

開館時間/10:00~17:00(入館16:30まで)

休館日/月曜日(3/20は開館)

# ミュージアム コンサート

Vol.2

SOKO Labo.  
ソコ ラボ



## 須佐 菜々美 (フルート)

福岡市立福岡西陵高等学校を卒業。福岡教育大学音楽コースにて演奏学・フルートを専攻、卒業。これまでに、前田明子、大村友樹、脇坂みどりの各氏に師事。現在は、各種イベントでの演奏家紹介およびレストランやバーで自身も演奏活動をしている。大学在学中より、福岡市内の中学校や高校にて吹奏楽部、管弦楽部の指導を行っている。



## 小野 稔隆 (コントラバス)

福岡県出身。13歳でコントラバスを始める。都築学園福岡第一高等学校音楽科を経て、2009年、東京藝術大学へ入学。これまでにコントラバスを吉浦勝喜、永島義男、西山真二の各氏に師事。2012年、東京 浜松町にて劇団四季ミュージカル ウェストサイドストーリーにパーシストとして参加。卒業後帰郷し、現在九州を中心に活動中。



## 尾崎 賢伍 (ドラム)

1986年宮崎生まれ。12歳の頃に兄の影響でドラムを独学で始め、18歳で音楽を学ぶため福岡へ。18歳から21歳まで音楽の専門学校にてドラマーとしての基礎知識を学び、23歳からカワイ音楽教室で講師を務める。現在は、ライブ活動、イベントプロデュースも行う。ライブ活動として、akiko氏、青木カレン氏、池田達也氏、田口悌治氏、山野修作氏、丹羽肇氏など色々な方々との共演。また、池端克章氏のツアーに参加。自主プロデュースイベントでは、名知玲美氏、Wasabi氏、Yossy佐藤氏、小林賢一氏を迎え共演。avex新人アーティストのレコーディングに参加。今年は、内山寛氏の九州ツアー参加。



## 古賀 美代子 (ピアノ)

日田市出身。福岡教育大学卒業。学業の傍ら音楽家としての道を志すようになり、ハンガリーのリスト音楽院にて研鑽を積む。学生時より主にアンサンブルピアニストとして活動。各地で行われている室内楽セミナーに参加するほか、NHK交響楽団のメンバーと数回に渡り室内楽で共演する。ピアノソロ分野においてもPTNAピアノコンペティションF級九州大会第1位など受賞歴多数。九州交響楽団とのピアノ協奏曲共演も果たす。これまでにピアノを武内敦子、原よしえ、武内俊之、レーティ・バラージュの各氏に、室内楽をビバリー・ラースロー氏に師事。



## 塩川 正和 (ピアノ)

1989年生まれ、福岡県出身。3歳よりピアノを、8歳よりヴァイオリンを始め、11歳の時にクラクフ室内管弦楽団とピアノ協奏曲を共演。フランスのパリ・エコールノルマル音楽院に、フジサンケイカラシップの奨学金を受け授業料全額免除で入学。名ピアニストであるブルーノ・リグット氏の下で五年に渡りピアノを学び、同校の高等演奏ディプロムを取得。在仏中、パリ市内の教会でのリサイタル、サン＝ルイ島のテアトルでの日本人作曲家の歌曲とピアノ曲を中心としたデュオリサイタル等のコンサート活動を行う。北九州芸術祭にて最年少17歳で大賞を受賞、エクソプロバンス・ピアノコンクール3位などの国内外のコンクールにおいて受賞歴を持つ。これまでにピアノを宝木多加志、ブルーノ・リグット各氏に、横山幸雄、ピオトル・パレチニ、パスカル・ロジェ各氏のマスタークラスにて指導を受ける。現在では九州を拠点にフランス印象派の作品を中心としたソロリサイタル、アルペニスの組曲「イペリア」全曲演奏などにも取り組み、室内楽やピアノ伴奏などの演奏活動を続ける傍ら「LesCleps Office」として演奏会の企画等にも携わる。